



### 『一万円選書』

岩田 徹 // 著      ポプラ社   請求記号   024 /イ/   資料番号   610163883

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611495>

【紹介文】すごく気になっていた方です。北海道の「いわた書店」の岩田さん。「一万円選書」がメディア等で話題になっていました。「一万円選書」の募集で1年のうち7日間の応募だけで、全国から3000件以上集まるといふ、どれだけこの方の選書を希望しているのか!やはり個人の選書の要となる「選書カルテ」。希望者の読書歴から日常思う事など、あらゆる面からの質問に答えていく形式です。本書では、この場合にはこの本が…と紹介もあり、参考になればと思います。人に薦める本を探し、マッチングするなんて、この文章を書いていて「これでいいのか」と思う次第です。

### 『イクメンの罨』

榎本 博明 // 著      新潮社   請求記号   367.3 /エ/   資料番号   610166803

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00612169>

【紹介文】わたしの嫌いな言葉のひとつの「イクメン」。育児をするメンズ、すなわち子育てを積極的に行う父親を指す言葉のことらしいのですが、そもそも育児をする女性は「イクウ-マン」って呼ばないのに、なんで男性が我が子の育児をしたらチャホヤされるのか分からない。とまあ、愚痴はこのくらいにして。こちらの本はそんな「イクメン」の問題点をあげ、母性的な愛をそそぐ育児から、昔ながらの父親としての役割の大切さに警鐘を鳴らしています。

### 『永寿総合病院看護部が書いた新型コロナウイルス感染症アウトブレイクの記録』

高野 ひろみ // ほか著      医学書院   請求記号   492.9 /エ/   資料番号   610166217

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611992>

【紹介文】2020年3月、永寿総合病院で発生した新型コロナウイルスのアウトブレイク。未知のウイルス相手に、手探りの感染対策をし、日々変わるコロナの情報や患者さんへの対応に奮闘した姿を描いている。風評被害や差別にあう病院スタッフの心のケア。地元の人たちの励まし。この本は発生時から収束までドキュメンタリーではあるけれど、血の通った人たちの気持ちや辛さが伝わってくる。コロナの時代になって、私たちの生活も過去からは想像できないものに変ってしまった。けれど越えられない壁はないと、みんなでもうひと踏ん張りするしかない。

### 『つけ襟ライフ』

川端 さよこ // 著      文化学園文化出版局   請求記号   593.3 /カ/   資料番号   610164832

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611698>

【紹介文】なんだか最近気になるつけ襟。実際にシャツを着ていなくても、ニットやTシャツの上に重ねてつけるだけできちんと感が出せたり、いつもの服の印象がガラリと変わったり。この本のつけ襟の素材はコットンやリネン。かぎ針で編むものより甘さ控えめに作れそう。これからの季節にも爽やかでピッタリな気がします。シャツを作るのはハードルが高いですが、襟だけならなんとかなるかも!?ミシンがないと難しそうですが、つけ襟19点が作れる実物大パターンつきです。

『カラダにやさしいオートミールの朝食とおやつ』

星野 奈々子 // 著 パルコエンタテインメント事業部 請求記号 596.3/ホ/ 資料番号 610167421

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00612305>

【紹介文】ここ数年大流行のオートミール。話題の米化やお好み焼き・ピザなど調理次第で様々な料理が作れ、更に健康やダイエットにも良いとなれば流行るのも納得です。オートミールの大流行でレシピ本も多く出版されていますが、本書では主にスイーツが紹介されています。まず全体的におしゃれな雰囲気！表紙から目を引かれます。海外の伝統的なお菓子や、それにオートミールをアレンジしたものなど、知らないお菓子も多く紹介されておりとても美味しそうです。スイーツの他にもすぐ作れるスムージーや夜の内に作っておくオーバーナイトオーツなどの朝ごはんレシピもあります。オートミールに挑戦しようか迷っている方は、まずスイーツから始めてもいいかも！

『心と体に効くお香のある生活』

椎名 まさえ // 監修 日東書院 請求記号 792/コ/ 資料番号 610167140

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00612082>

【紹介文】五感の中でも嗅覚は、脳の扁桃体や海馬という記憶や感情を司る部位に信号を送ることができるのだそうです。『懐かしい匂い』や『美味しそうな香り』という表現は、香りと記憶や感情が結びつくことで生まれるのですね。『お香』というと仏事や香道を連想する方もいらっしゃると思いますが、この書籍では、そのような特別な場面だけでなく、リフレッシュしたい時、記憶力や集中力を高めたい時、安眠したい時など、生活に『お香』を取り入れて楽しむ方法や道具を紹介しています。天然香料が好きな方は、アロマテラピーとは違う『お香』も、ぜひお試しください。虫除け香の手軽な作り方も紹介されています。

『世界一くさい食べもの』（児童書・しょくもつ）

小泉 武夫 // 著 筑摩書房 請求記号 383/コ/ 資料番号 620063180



<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611075>

【紹介文】においをかいただけで気絶しそうなくさい食べものがある。けれど、くさい食べものと腐った食べものは違って、人間も食べて、危険なものはおいで察知できるらしい。ただ、くさやのにおい+くさいチーズのにおい+腐ったギンナンのにおい+ウンチのにおい+その他くさいにおいの食べもの…という公式の成り立つ食べものが、口にしても死なないのだろうか？ただ、くさいだけでは無く栄養豊富で美味しい、人間の知恵が作り出した世界中のくさい食べものを紹介した本。食べてもホントに大丈夫？

『かすみ川の人魚』（児童書・ものがたり）

長谷川 まりる // 作 講談社 請求記号 913/ハ/ 資料番号 620063388



<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611194>

【紹介文】伝説では、人魚の肉を食べると800年生きられるといわれている。まさか学校の近くのドブ川で人魚が弱ってたおれているなんて…人魚を見つけた5年生の大賀は、友だちも少なく、嫌な奴だと思っていた。だけど、物珍しさから人魚を助け、友だちの千秋に打ち明ける。そして、人魚の世話と観察をしてうちに人魚と気持ちが通じ合うようになる。そんなある日、千秋が人魚にかみつかれ意識不明に。千秋を助けるには、どうしたらいいの？そして、人魚の正体とは？



問い合わせ先

苅田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30（木・金は19：00まで。本館のみ）

ホームページから蔵書検索もできます



(2022.3.6発行)